

第46期（2020年4月期）
決算補足説明資料

ヤーマン株式会社

企業スローガン、ミッション	1
業績ハイライト	3
セグメント別売上	4
セグメント別営業利益	5
売上構成	6
財務ハイライト	7
次期以降の取り組み	8
業績予想について	12
配当について	13

企業スローガン

美しくを、変えていく。

すべての人には美しく輝く力がある。
その力を目覚めさせ、今日より美しい明日を叶えるために。

私たちは1978年の設立以来、
エステサロンで選ばれる美容機器を作り続け、
その高度な技術を活かして自宅でできる本格エステを実現。
そのクオリティは日本ではもちろん、世界で広く愛されています。

これからも時代の先をゆく美のプロフェッショナルとして、
先端テクノロジーと常識を変えるアイデアで美しくなる
夢や驚きをお届けしていきます。

ミッションステートメント

美しさを実現するものづくり。

それを生むのは、尽きることのないアイデアと卓越した開発力です。

理想の美しさをかなえ、世界中に夢や驚きを届けるために、

私たちは新しい「美のカタチ」を追求し続けます。

業績ハイライト

国内需要は底堅く推移しましたが、インバウンド需要の低迷を補うまでには至らなかったことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が大きく、売上高は前連結会計年度を下回りました。

また、直販部門においてインフォーマーシャルの比重を上げたことや、ブランド浸透のためのTVCMなどを積極的に行ったことにより、広告宣伝費が前連結会計年度と同等の規模となったことなどから、利益面でも前連結会計年度を下回る結果となりました。

回次	第42期 2015年5月1日 ～ 2016年4月30日	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
売上高（千円）	16,310,824	19,969,588	23,030,230	27,252,371	22,975,758
営業利益（千円）	1,028,422	3,503,274	5,385,662	5,705,084	2,504,326
営業利益率（%）	6.3	17.5	23.4	20.9	10.9
経常利益（千円）	1,002,211	3,533,869	5,345,643	5,715,275	2,310,752
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	591,524	2,269,042	3,399,819	3,539,647	1,322,586
1株当たり当期純利益(円)	10.16	39.79	59.62	62.65	23.66

(注) 当社は、2017年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、第42期の期首に当該分割が行われたものと仮定して、1株当たりの数値を算定しております。

セグメント別売上

店販部門は、国内顧客向けの販売は堅調だったものの、免税店を中心とした海外顧客向けの売上がインバウンド需要の低迷に伴って落ち込んだうえに、新型コロナウイルスの感染拡大による移動制限や実店舗休業などの影響を大きく受けました。

一方で、いわゆる巣ごもり消費は好調に推移しており、通販部門、直販部門は2020年2月から4月の第4四半期連結会計期間においても売上を伸ばしました。

また、海外部門では、情勢不安が続く韓国・香港は年間を通して不調だったものの、中国国内ではオンライン販売が非常に好調で、売上を伸ばす結果となっています。

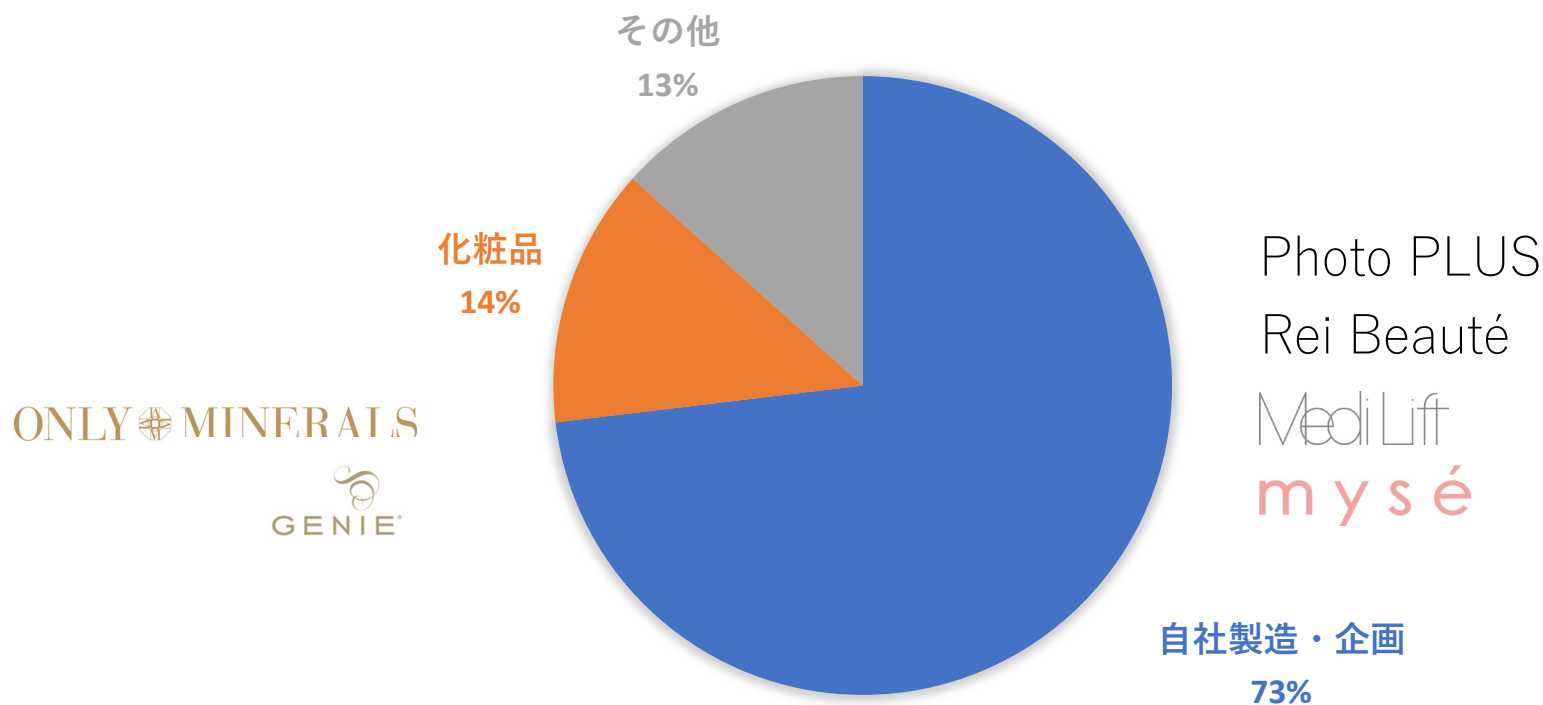
回次	第42期 2015年5月1日 ～ 2016年4月30日	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
通販部門（千円）	4,770,882	4,662,885	3,816,292	3,383,094	4,418,156
店販部門（千円）	4,364,668	6,909,317	10,058,901	9,644,014	6,827,885
直販部門（千円）	6,406,546	5,759,948	5,572,722	5,914,429	5,844,244
海外部門（千円）	749,358	2,511,577	3,510,910	7,545,161	4,903,788
その他（千円）	19,368	125,859	71,405	765,671	981,682
合計（千円）	16,310,824	19,969,588	23,030,230	27,252,371	22,975,758

セグメント別営業利益

回次	第42期 2015年5月1日 ～ 2016年4月30日	第43期 2016年5月1日 ～ 2017年4月30日	第44期 2017年5月1日 ～ 2018年4月30日	第45期 2018年5月1日 ～ 2019年4月30日	第46期 2019年5月1日 ～ 2020年4月30日
通販部門（千円）	1,367,639	1,967,743	1,514,283	1,407,829	1,678,352
店販部門（千円）	1,393,114	3,091,513	4,460,629	3,687,255	2,045,803
直販部門（千円）	1,546,331	1,588,001	2,068,770	2,740,345	2,131,251
海外部門（千円）	107,747	581,259	1,354,709	3,353,396	1,631,437
その他（千円）	1,747	43,439	16,272	△20,839	△141,994
調整額（千円）	△3,388,157	△3,768,682	△4,029,002	△5,462,902	△4,840,524
合計（千円）	1,028,422	3,503,274	5,385,662	5,705,084	2,504,326

売上構成

当連結会計年度における売上構成は、自社開発製品及び自社企画製造委託品が73%、化粧品が14%、その他仕入品などが13%となりました。



財務ハイライト

関連会社株式の取得、自己株式の取得などにより、現預金が減少しております。
新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化することを見据え、不測の事態に備えて運転資金に充当するため、第47期において銀行借入による資金調達を行うこととし、2020年5月に25億円の借入を実行しております。

回次	第42期 2016年4月30日	第43期 2017年4月30日	第44期 2018年4月30日	第45期 2019年4月30日	第46期 2020年4月30日
総資産（千円）	11,373,593	13,947,032	16,524,115	17,959,780	17,292,977
純資産（千円）	6,817,278	8,884,938	11,877,492	13,072,242	13,361,715
自己資本比率（%）	59.9	63.7	71.9	72.8	77.3
現預金（千円）	5,813,824	8,460,290	10,168,850	8,133,532	7,632,507
売上債権（千円）	1,898,257	2,347,827	2,580,729	3,394,343	3,022,126
棚卸資産（千円）	1,793,573	1,285,957	1,408,659	2,284,919	2,034,177
仕入債務（千円）	1,194,229	1,241,352	1,124,343	1,414,620	1,622,527
有利子負債（千円）	1,593,538	1,096,318	632,365	583,395	534,409

次期以降の取り組み

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う店舗の休業や世界的な海外への渡航制限などが当社グループの足元の業績に影響を与えており、インバウンド需要の停滞も相俟って、店販部門は国内免税店を中心に大きな打撃を受けました。

一方で、巣ごもり消費の好調から、通販部門、直販部門は2020年2月から4月の直近の四半期連結会計期間においても売上を伸ばしました。

消費行動の変化は今後も継続していくものと考えられ、オンラインでの販売の強化に注力していく方針です。

海外部門では、情勢不安が続く韓国・香港は年間を通して不調だったものの、中国においては日本と同様に国内のオンライン販売が好調を維持しており、ニーズに合った製品の投入と広告宣伝の強化により、売上の更なる伸長を図っていく計画です。

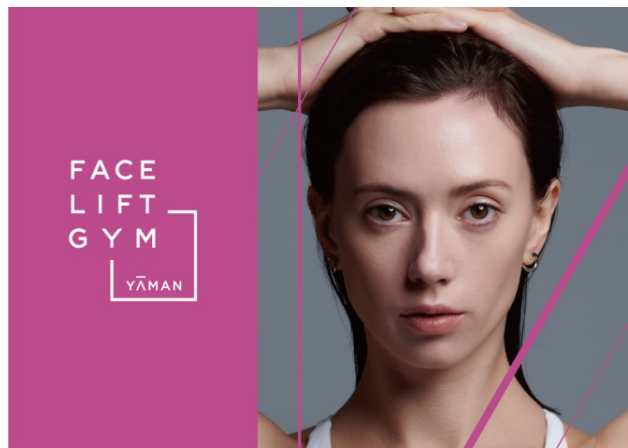
また、通販・店販・直販・海外の各販路の最適化を図るとともに、環境の変化に対応できるサプライチェーンの構築や、テレワークの導入などによる柔軟な就業形態の導入といった課題にも積極的に取り組んでまいり所存です。

引き続き、ブランド浸透を軸とした広告宣伝と「FACE LIFT GYM」を始めとする体験型サービスの充実に努めながら、「日本発のグローバルブランドカンパニー、ヤーマン」の実現を目指してまいります。

- ・ 旗艦ブランドYA-MAN TOKYO JAPANのさらなるブランド認知獲得
- ・ 武田真治さんを起用したテレビCM等のマスマーケティング強化



- ・ 新業態『FACE LIFT GYM (フェイス・リフト・ジム)』の育成

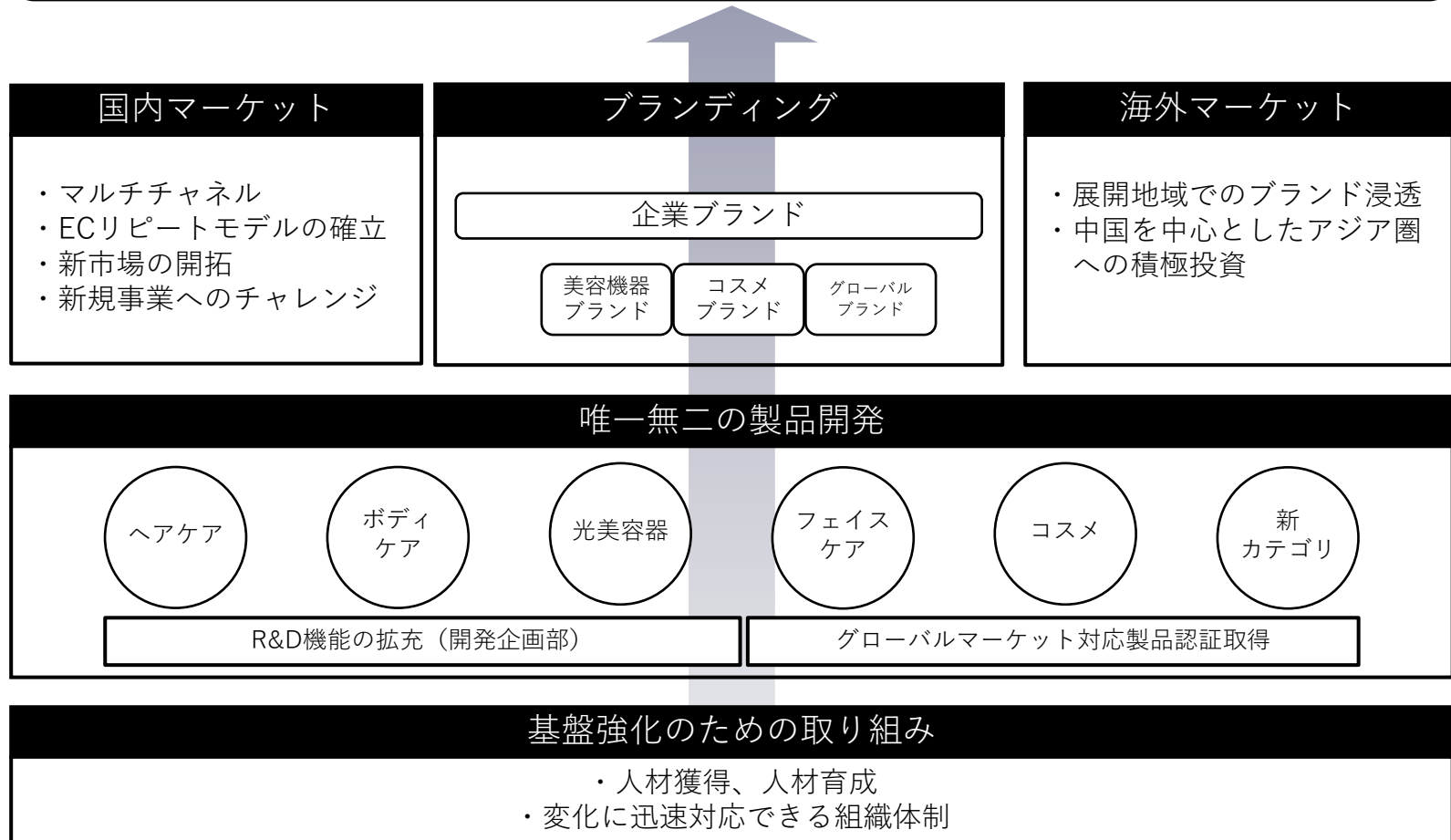


- 成長ブランドの新商品ローンチ
- リピート商材ブランドを中心としたCRM強化
- グローバルブランド展開販路拡大

BRANDS



日本発のグローバル・ブランド・カンパニー



業績予想について

新型コロナウイルスの感染拡大が今後の当社グループの業績に与える影響は、当面の間継続するものと考えられますが、引き続き広告宣伝と顧客サービスの充実に努めながら、それぞれの販路の最適化を図ってまいりたい所存です。

第47期（2021年4月期）につきましては、売上高の回復と営業利益率10%の確保を目標とし、今後の成長のための投資についても引き続き積極的に行っていく方針です。

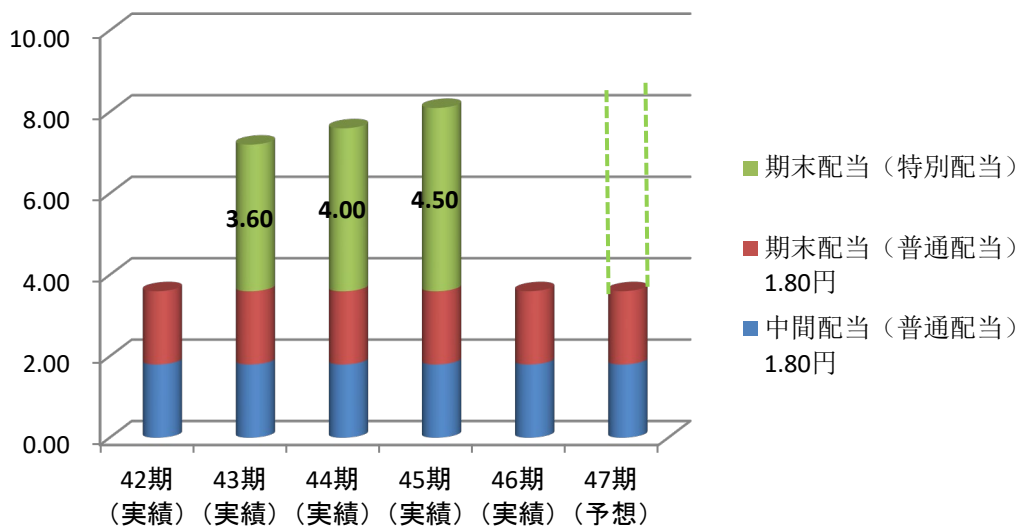
	上半期 (2020年5月～10月)		通 期 (2020年5月～2021年4月)	
	金額	対前年同期 増減率 (%)	金額	対前年同期 増減率 (%)
売上高 (千円)	13,678,288	18.8	26,000,284	13.2
営業利益 (千円)	1,732,980	0.7	2,600,985	3.9
経常利益 (千円)	1,636,342	0.1	2,407,843	4.2
親会社株主に帰属する 当期純利益 (千円)	1,038,231	9.0	1,526,314	15.4
1株当たり当期純利益 (円)	18.87	10.8	27.74	17.2

配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置付けており、配当金につきましては、毎期安定的、継続的な実施を原則とし、期中の業績等を総合的に勘案して決定することとしております。

第46期の期末配当は、利益水準と昨今の状況の不透明さを鑑み、1株当たり1.80円、年間では3.60円とさせていただきます。

第47期の予想は中間配当1.80円、期末配当1.80円、年間3.60円としておりますが、最終的な金額は上記方針に従って期末に決定する予定です。



(注) 当社は、2017年11月1日付で普通株式1株につき10株の割合で株式分割を行っており、右記の1株当たり配当額は、当該分割の影響を加味したものです。

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等については、様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 本資料は皆様への情報提供を目的としており、投資を勧誘するものではありません。
- 本資料のご利用にあたっては、利用者の責任によるものとし、情報の誤りや瑕疵、目標数値の変更、その他本資料のご利用の結果生じたいかなる損害についても、当社はその責を負いかねますのでご了承ください。